

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2020.10.No278

10月号

## 目次

代議員が決定	1
特集 BIM活用法	2
Webワーキング報告	4
青年・女性の窓	6
[No.97 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
Coffee Break	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>

## 信任投票で新たに代議員43名が決定

(一社)北海道建築士会 代議員選挙管理委員会  
委員長 榭 政 信

◆9月1日に正会員の皆様へ通知し行われました信任投票の結果、特定の候補者が当選人となることについて、選挙人からの異議が述べられなかったため、一般社団法人北海道建築士会代議員選挙規則第18条第5項により、当該特定の候補者について信任する旨の投票をしたものとみなし、9月15日をもって当該特定の候補者を当選人（代議員）に決めました。

### ◆一般社団法人北海道建築士会代議員選挙規則（抜粋）

#### ○第18条第5項

選挙人が前項第3号の期間内（特定の候補者が当選人となることについて、選挙人が9月1日から15日までに書面で異議を述べることができる。）に特定の候補者が当選人となることについて異議を述べなかったときは、当該特定の候補者について信任する旨の投票をしたものとみなす。

### ◆代議員一覧（敬称略）

支部名	代議員名	支部名	代議員名	支部名	代議員名	支部名	代議員名
札幌	井上 勝己	函館	澤口 悦郎	空知	徳井 光司	釧路	楠 廣文
札幌	内海 純一	檜山	佐藤 久	北空知	小川 広見	根室	山口 耐一
札幌	菊地 義紀	小樽	三ツ江元治	留萌	舩田 彰	中標津	山岸 英一
札幌	松本 純	後志	佐藤 裕	旭川	宮原 進	網走	塩川 顕児
札幌	木谷 泰彦	岩内	上野 憲之	旭川	岡田 光弘	網走	立花智亜喜
札幌	吉田 徹	余市	中山 善彦	旭川	米本 一恵	北見	因 芳広
千歳	南雲 勇次	古平	堀江 昭夫	士別	土岐 浩二	美幌	伊藤慶三郎
恵庭	歳桃 勝幸	室蘭	川田 寿之	富良野	永井 敏広	紋別	稲葉 宏剛
北広島	関川 修司	苫小牧	堀 啓一	上富良野	狩野 寿志	遠軽	高橋 利己
石狩	佐藤 壽治	日高	山下 聡	名寄	川崎 俊彦	宗谷	片山 徹也
函館	山内 一男	空知	芳賀 智一	十勝	岡田 英樹	計	43名

### ◆代議員の任期

令和2年9月16日から令和4年代議員選挙終了日まで

# まずは平面図だけBIM



BIM推進特別委員会 大門 浩之 (札幌支部)

## 【BIM元年から10年】

BIM元年と言われた2009年より10年が経ちました。最近ではBIMの認知度も高まりBIMを知らないという人も少なくなったかと思えます。2011年の日経PB社のBIM活用実態調査レポートでは、BIMを導入していると回答した企業は33.1%でしたが、2017年の日本建設業連合会のBIM専門部会のアンケートでは67%がBIMを導入していると回答しています。私自身、周囲でBIMを使っている人もここ2~3年で大きく増えました。今後、この業界がBIM (BIMでなくても準じる何か) に向かう事は間違いない事であり、その進捗も指数関数的に増えていくことでしょう。

## 【国も本腰を入れ始めた】

2019年、国交省と民間企業が一体になりBIMの活用を推進するために「建築BIM推進会議」が設置されました。

推進会議の下には下記5つの部会が設置されています。

- ・ 建築BIM環境整備部会
- ・ BIMを活用した建築確認検査の実施検討部会
- ・ BIMによる積算の標準化検討部会
- ・ BIMモデルの形状と属性情報の標準化検討部会
- ・ BIMの情報共有基盤の整備検討部会

これらの部会において共通しているキーワードは「標準化」です。BIMはI(情報)が最大のキーです。その情報の入れ方、内容が各社バラバラでは円滑なデータの受け渡しだけでなく、BIMモデルを活用した様々な応用にも支障があるからです。IoT、AI、5G、ブロックチェーン、最近よく聞くこれらの単語、すべて関係してきます。

標準化という単語を聞くだけでネガティブなイメージを思い浮かべる方が設計者には多いですが、アメリカやイギリスには「omniclass」「uniclass」といった国で定められている建築情報に関するコード体系があります。また、まだ日本では一般的ではないですが、BIMによって構築された情報管理を行うための国際規格ISO19650もあります。これら情報についてのルールが日本でも一般的になると、まず図面の書き方が変わる可能性があります。これまで言葉で書いていた事は、海外の図面の様に記号と文字列で表現する方が管理しやすいからです。

BIMで将来的に図面がなくなる可能性があります。まずはここが先に来るでしょう。

## 【BIMのIを活用した事例】

ここからは具体的な活用例をご紹介しますと思いますが、こんな図面を作っています、3Dでプレゼンしています、といった内容は聞き飽きていると思われるので、少し違う方向で内容をご紹介しますと思います。私は主にARCHICADを使用していますので、その前提で書いていますが、他ソフトでも同様の事は可能かと思えます。

ARCHICADにはゾーンという部屋の情報を入れる要素があります。このゾーンに室名を入れて表示したり、面積や入力した仕上げの情報を元に面積表や仕上表を作成します。

使い始めの方であれば、このゾーンだけ使って、シングルラインプランを作成したり、面積表や簡単な3Dボリュームを表示する、または日影や天空率の計算をするなど、単独でも十分に活用できます。



ゾーンツールと柱だけで作ったボリューム検討

## 【排煙採光換気計算の自動化】

ARCHICAD内では関数を使う事が出来ますので、このゾーンが持っている情報を関数の引数として活用し、新しい情報を自動で作出す事が出来ます。

厳密には異なりますが、ARCHICAD内に関数を仕込んだエクセルの表を設定するイメージです。

この設定をしておくことで、ゾーンを入力するだけで、排煙採光換気計算書のベースが作られる、という事が出来ます。また、排煙計算がNGの室名のペンを赤字にする等といった設定もできます。



排煙採光換気計算表

全ての項目を自動で拾えるわけではないので、手動で入力する項目もありますが、これまでエクセルに部屋名打って、CADで面積測ってと、一から手入力していた時と比べたら圧倒的なスピードですし、入力間違いが大幅に減ります。

ARCHICAD内の表はエクセルに書き出す事ができますので、操作性の良いエクセルで手入力項目を入力し、ARCHICADに戻すという事も可能です。

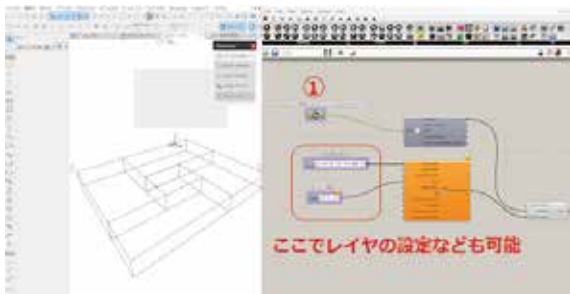
### 【ゾーンの形を読み込んでスラブ(天井)自動配置】

Rhinoceros (以下Rhino) という3Dモデリングソフトと、RhinoのアドオンであるGrasshopper (以下GH) とARCHICADはダイレクトリンクが可能ですので、その機能を活用して自動配置します。

Rhino+GHで設計と聞くと、パラメトリックモデリングのうねうねした形状を思いつく方も多いかと思いますが、そのような設計がなかなか出来るものでもないですし、自分には関係ないと思いがちでしょう。

もっと簡単な利用方法でも、ARCHICADの作業効率を上げる事が出来ます。

下の画像右がGHでARCHICADのゾーン形状に合わせてスラブを作るプログラムです。ARCHICAD側でゾーンを一括選択し、GHの①のところを右クリックして、コマンドを選ぶだけです。2クリックで全てのゾーンにスラブが作られます。



応用すればもう少し複雑になりますが、ゾーン内の天井高さの情報を追加で読み込み、天井高さに合わせて自動で天井を貼ることもできます。

### 【積算は大変。まずは基本設計概算程度から】

積算に必要な情報をBIMに“ミスなく”入力するのはかなりの労力です。導入して最初に取り組むべき内容ではないです。(積算業務関係者は除く)



数量拾いは簡単な建具や間仕切りから順番に

### 【BIMの習得について】

新しい事を習得するにはBIMに限らず一時的に効率は落ちます。これは仕方がない事です。であれば、これまでの効率をいかに落とさずにBIMに移行できるか。そこを考えましょう。

私はこれまで何度かBIMのセミナーでお話しさせていただく機会を頂きましたが、必ずお伝えしているのは、

- ・実施設計からBIMを使い始めるのはやめる。
- ・最初から全部BIMでやろうとしない。

この2点に尽きます。BIMというと仕上表や建具表が自動で出来るとか、数量を拾えるなど、実施設計で使うイメージが先行しますが、実施設計から始めたBIMはかなりの確率で挫折します。効率が落ちる量が大きすぎるからです。

使用する機能が限られる基本計画、基本設計から始めましょう。まずは平面図だけでいいです。断面図や立面図は今まで通り2DCADで書きましょう。

ただし、絶対に2Dの平面図は作らないこと。

平面図だけBIMでも前述の排煙計算の自動化や概算数量を出す事はできます。そして、慣れてくるともう二度と2DCADで平面図は書きたくない、と思うくらい作図効率が上がるはずですよ。その時間を使って次の図面、次の図面とBIMで出来る範囲を増やしていくやり方が一番効率を落とさずに習得していただけます。

まずは「平面図だけBIM」から始めてみましょう。

### 【BIMの学習教材について】

まだまだ少ないと言われていますが、私がBIMを使い始めた2010年とはBIMに関する情報量は雲泥の差です。書籍は発行され、HP、ブログ、Twitterで情報発信する人も増えました。Youtubeでかなり実務的で役立つ解説をしている人もいます。

また、コロナ禍の影響により、無料のオンラインセミナーも多数開催されており、これまで首都圏まで行かないと聞けなかったセミナーや勉強会なども簡単に参加出来ます。「doBIM」もオンラインでの開催が決まりました。

ユーザー間の交流が活発なのもBIMの特徴です。

私もARCHICADユーザーグループ北海道の代表幹事をしており、勉強会などを不定期に開催しています。また、各地のユーザー会代表同士で定期的な情報交換をして新たな発見を共有していますので、北海道のユーザーに展開していきたいと考えています。このようなコミュニティに積極的に参加し、わからない事はどんどん聞けばいいと思います。

大体のBIMユーザーは教えることが好きな傾向があります。喜んで教えてくれますよ。

自習型認定研修の設問は、P8に記載しています



▼北海道建築士会ホームページのトップページ画像



## Web working groupからの報告！

(※メンバー) ■統括理事：針ヶ谷 拓己 ■常務理事：牛田 健一・西岡 誠・伊藤 隆英

### Web workingを設置する！

Web会議や新ホームページの構築・リフォームに向けたより具現化した検討を加える作業部会を設置しました。

6月19日(金)午後3時から、本部事務局会議室で令和2年第1回Web workingを開催して、①Web会議ツール導入サポートについて、②ホームページの改良について検討を行いました。



### オンライン会議ツールの導入について

新型コロナウイルスの感染に伴い、令和2年第3回理事会において、事業計画・収支予算の変更が承認されたので、令和2年第3回四役会議(6/9)において、オンライン会議ツールを導入して、一部の会議や実行委員会をWebで開催することになりました。

このWeb会議用に導入することとなったオンライン会議ツールについては、プランの内容、料金、利便性、接続の状況、画面の鮮明度、接続機器(パソコン、スマホ、タブレット可)、参加者側の取扱いの簡易性について主要7社を比較・検討した結果、次のツールを利用することになりました。

### 今回、導入するツールの内容

■ツール名：Zoom ■プラン：プロプラン ■料金：月額2,000円(税抜き) ■使用アカウント数：1ア

カウント ■最大接続人数：100名 ■ビデオ参加人数：49名(画面表示25名) ■記録等(開催中の録画)：可能 ■その他：参加者側のアプリインストール必要 (\*「Zoom」は、パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングをオンラインで開催するために開発されたアプリです。)

### Zoomの運用

本会は運用側として、①会議には、必ずパスワードを設定し、URLやパスワードは公開せず適切な参加者のみに教える。②画面共有を「ホストのみ」に設定する。③ミーティングIDを毎回、自動的に生成する。④「ファイル転送」を無効にする。⑤参加者が会議に出入りしたときに音を鳴らし、気付けるようにする。⑥「待機室」の機能を使い、主催者が承認したユーザーのみが参加できるようにする。⑦Zoomにログインしている認証されたユーザーのみが参加できる設定にする。⑧機密性の高い情報の共有は控える等の、セキュリティ対策を講じることで、安全に運用していくものとする。

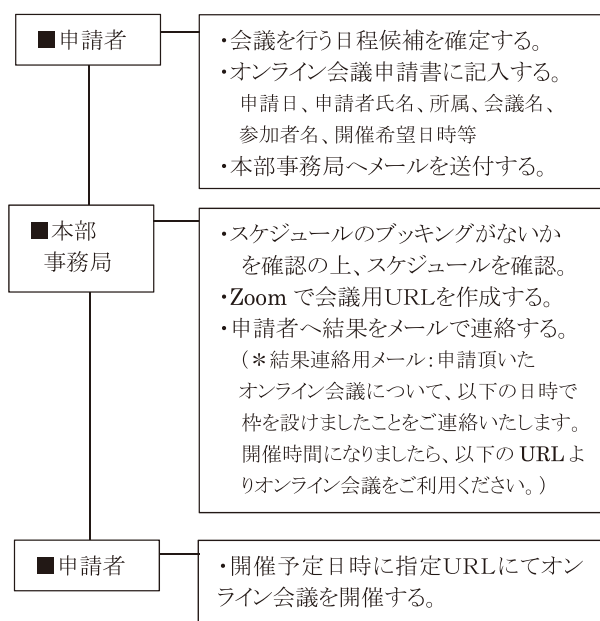
### オンライン会議ツール導入サポート

(特記事項)

項目	内容
■導入調査・ヒアリング支援	主催者・参加者の現状の環境を確認できるチェックリストを作成。
■運用手順書の作成	会議の開催・運用にあたり、主催者・参加者間で行う申請方法や、実際に開催する際の手順書を作成。
■各種ひな形の作成	会議の開催・運用にあたり必要となるひな形を作成。 ・会議の申込申請を行うための申請書類(申請用メールテンプレートなど) ・会議の申込受付を管理する際に必要となる書類(開催内容確認メールテンプレートなど)

■アンケートフォームの作成	会議終了後、参加者に改善点・要望等を記載してもらうためのアンケートを作成します。(Googleフォーム)
■オンライン会議ツールの使用方法レクチャー	オンライン会議ツールの使い方についてレクチャーを行います。(対面1回)
■機材設置サポート	オンライン会議開催にあたり必要な機材(マイク・カメラ)の設定やセッティング方法をレクチャーします。(1回)
■オンライン会議ツール導入サポート業務を(株)電通システムに委託します。	

## オンライン会議のフロー・チャート



## 本会ホームページの開設の経緯

平成8年(1996年)に開設された「パソコン通信情報ネットワーク」を、インターネットの普及により平成12年(2000年)1月1日に「北海道建築士会情報ネットワーク」と改変し、インターネットを利用した本会ホームページを開設しました。その後、必要に応じて修正や改良を行い現在まで運用してきました。

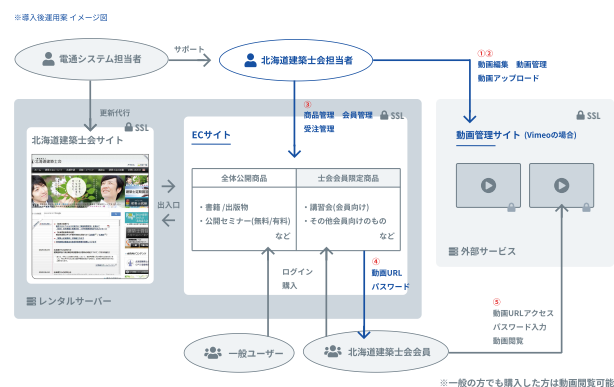
## 本会ホームページの現状と課題

公開から、20年以上たった現在、「掲載している情報が増えすぎて整理ができていないページが出てきた。」「見た目が古くなった。」などに加え、構造上の無理(提供したい情報や提供の方法)が出てきており、時代の流れにマッチしなくなっている。また、新型コロナウイルスの影響により、これまでのように密になる場所での講習会、セミナーなどが開催できなくなり、会員の自己研鑽の場が限られている現在、約4,000名の会員を有する本会においては、ホームページを利用した情報の提供は、必須であると考えられる。

## 新ホームページのリニューアル・イメージ

- ポイントは、
1. 会員のみ閲覧等権限の追加
  2. 講習会・セミナーのWebでの実施及びスマートフォンでの視聴の対応
  3. 各種書籍や教材の販売・購入機能の追加

- 期待できるメリットは、
1. 会員外(一般)との情報提供等の差別化
  2. 参加者の移動に伴う時間・交通費の削減
  3. 参加者の参加場所の自由化
  4. CPD単位取得の促進
  5. 運営側の会場の確保・費用負担の削減
  6. 運営側の印刷の作業と費用の削減



## ホームページのリニューアルに係るアンケートを実施する!

第1回Web workingの検討の中で、ホームページのリニューアルにあたっては、本会の7実行委員会(総務・事業・情報・まちづくり・青年・女性・被災地応急支援)から、ご意見等をいただくためのアンケートを実施することになりました。  
【\*回答締切日: 7月8日(水)】

■アンケートの趣旨は、  
今回の新型コロナウイルスの感染を機に、オンデマンド的に(\*好きな時に好きな情報を得る。)セミナー動画や各種情報を、会員限定で閲覧できるようにホームページのリニューアルを計画しています。

- 主なアンケート内容は、
1. オンデマンドによる情報配信ページを、委員会として利用したいですか。
  2. 委員会にて今出せる、セミナー動画や各種情報動画などのコンテンツはありますか。
  3. それは、具体的にどのようなものですか。
  4. オンデマンドによる情報配信ページで、会員が喜ぶような内容があれば、教えてください。

\*各実行委員会から、提出されたアンケート内容を検討して、活用できるものは、できる限りホームページに反映して、新たな本会のホームページを構築して、リニューアル化を図ることに努めるものとする。





## 建築士会連合会委員を終えて

新海 直美 (札幌支部)

令和2年6月いっぱい、2期4年の連合会女性委員会の委員を終えました。

連合会の委員って何をしているの?という方も多いかと思います。建築士会連合会は、全国の各都道府県建築士会からなる組織です。まちづくりや青年、法制度など10ほどの委員会があり、女性委員会もその中のひとつ。委員会は各都道府県の会員で構成されていて、私はその中のひとりでした。

女性委員会は、女性建築士の活動の活性化や育成が主な目的で、年に1回開催される、全国女性建築士連絡協議会(以下全建女)や全国大会のセッションなどの企画・運営をしています。硬い説明になってしまいましたが、全国の女性建築士が活躍している様子を伝えたり、情報交換する場をつくるのが女性委員の仕事です。

大変そう...と思われるかもしれませんが、実際大変な部分もあります。しかしながら集まった委員との交流や各地域での活動の状況に触れることで、新たな発見があったり、仕事や生きる上での励みになったりとプラスとなったことの方が多く、やらせて頂いて良かった!と思っております。

新型コロナの影響で、今年度の全建女や全国大会は延期となりましたが、こんな時こそきっと元気が貰えるので、皆さんにも女性委員会の活動に参加してみたいです。全建女は来年広島での開催となります。是非ご参加頂けると嬉しいです!

ちなみに、今年度から小樽支部の本間恵美さん(写真右下)が連合会女性委員長となりました!



H30-31の委員とパチリ(持っているのは名札です)

## ～ウポポイ～ アイヌ民族の暮らしを体感!

佐々木 弓 (室蘭支部)

今年7月21日にオープンが延期になっていた、白老町ウポポイ民族共生象徴空間へ行ってきました。



もうすぐウポポイ!

新型コロナウイルス感染防止対策により入場の際の赤外線サーモグラフィ測定や、各施設見学会場への入場人数制限などの配慮がなされ、安心して見学できました。



森が描かれたコンクリートの廊下

いざないの回廊はアイヌ民族の世界へ導かれるような不思議な空間



エントランスは広々としたスペース

エントランス棟の奥にアイヌ民族博物館があり、国立の建物はやはり流石の迫力でした。



ウポポイのマーク



室内は仕切がなく 立派な  
広いスペース 小屋組みです

チセの伝統的な技法の造りがスケルトンで見学できる場所もあり、規模の異なるチセが3棟建っていました。アイヌ民族の暮らし方やカムイとの関わりなどのお話も聞け、自然との向き合い方を振り返る時間になりました。



外の景色が絵画のようです

広い施設内には管理運営施設も含め、体験学習館、体験交流ホール、工房などの建物があり、その他にも野外ステージでの芸能、アイヌ文化を直接感じることでできる語りや仕掛け弓実演、丸木舟操舟実演も体験できて、人数制限の中、一日で見学するには足りないくらいのボリュームです。



バスのデザインも素敵でした!

バスにも書いてあるイランカラプテはアイヌ民族の挨拶の言葉だそうです。是非、皆さんも一緒に!イランカラプテ~!

函館支部

新たな日常を構築して事業を進める準備を！

支部長  
澤口 悦郎



今年1月の支部通常総会で役員改選が行われ、山内一男前支部長の後任として支部長の職に就きました。また、副支部長をはじめとする各役員の方皆さんも改選され、新体制で支部の事業を運営することになりましたので、よろしくお願いたします。さて、昨年9月の全国大会が函館で開催されてから、早いもので1年が経ちましたが、まだ記憶に新しいものがあります。思い起こしますと、実行委員会の打合せが札幌本部や地元函館で何度も繰り返し行なわれたことを覚えております。我々運営スタッフは、その実行委員会で作成された作業マニュアルによって、前日の配付資料の仕分けや会場設営、大会当日の総合受付、大交流会のおもてなし、そして翌日のエクスカッションの随行などを担当したわけですが、全国から参加した会員の皆さんにとっては思い出に残る良い大会になったのではないかと考えております。

地元での開催は初めてのことで

あり、当初は大変不安でしたが、大会実行委員会の組織力と全道各支部のお力添えと賛助会のご協力もあり無事大会を終えることができました。

おかげさまで伝統ある函館支部の歴史に記念すべきイベントとして記録されることになりました。われわれ支部会員にとっても、良い体験になったと思っています。大会に携わった皆さん、たいへんお疲れ様でした。

年も改まり新たな支部体制となったので、早速、令和2年度の支部事業に着手しようとしたところに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が押し寄せてきました。新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威をふるい、長期にわたって制約を受けながら生活することを余儀なくされました。

緊急事態宣言が発出されたため、支部の各委員会も5月以降は活動ができなくなり、また、「建築士の日」の事業である第33回チャリティー「ビア&ダンスの夕べ」や第40回青函松交流会も、「3密」を避け、感染拡大を防ぐことを第一に考え開催を中止しました。しかし、2020年版の「支部だより」は、情報委員会の努力によ

り6月末に発刊することができました。また、7月の二級建築士の学科試験についてもセンターの指示に基づき、座席の離隔距離確保のため受験室を増やすなど感染予防対策を行いながら実施しました。

二級建築士の設計製図試験（この会誌の発刊時には実施済みですが）や建築士定期講習も同様の対策を取りながら実施することになります。

先月、本部での支部長会議に出席しましたが、各支部も事業計画のほとんどが中止との報告がありました。第2波、第3波の感染が予測されている中で、感染リスクを避けながらの事業活動は大変難しいものと思っております。

しかし、先日の報道では、世界保健機構（WHO）が記者会見で、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）について「2年以内」で収束が可能との見通しが示されました。

いずれにしても、未だかつて経験したことのない状況にはありますが、いつかは収束することを信じ、新たな日常を構築して事業を進めていけるよう準備したいと考えております。

保護・露出・屋内と各シーンに合わせた防水工法

「万能型」改質アスファルト常温複合法 : レイヤール工法

改質アスファルト塗膜防水材料による、マルチに活躍できる万能型の常温複合法

「F☆☆☆☆」および「VOC(揮発性有機化合物)自主規制表示登録」を取得



- 公共建築工事標準仕様書 A・B・D・E 各グレードと同等以上の性能を確保
- 塗る+貼るを組み合わせた複合法ならではの高い信頼性
- 臭い・煙の排出、火器を使用しない工法のため、施工環境に優しい
- 保護・露出・屋内の各シーンに対応したバリエーション豊富な工法設計
- 5℃以下でも施工が可能のため、通年使える常温複合法
- 熱工法やBANKS工法との組み合わせが自由



〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6 大樹生命札幌大通ビル3階 田島ルーフィング(株)内

T e l 011-221-4014 F a x 011-222-3627

技術協力メーカー : TAJIMA 田島ルーフィング株式会社



## 道士会の動き

### 道本部の主な会議報告（9月）

- ◆第3回総務・企画委員会  
〈開催日〉9月5日(土)  
〈議題〉1) 令和3年からの会費
- ◆まちづくり委員会WEB委員会  
〈開催日〉9月5日(土)  
〈議題〉1) 新規事業
- ◆第4回理事会 ※議題はすべて承認済  
〈開催日〉9月11日(金)  
〈議題〉1) 令和2年一般会計事業報告及び収支状況(7月末)  
2) 令和2年特別会計事業報告及び収支状況(7月末)  
3) (一社)北海道建築士会運営規則の改正(案)  
4) (一社)北海道建築士会職員就業規則の改正(案)  
5) (公社)日本建築士会連合会会長表彰推薦者変更(案)  
6) (一社)北海道建築士会会長表彰変更(案)  
7) (一社)北海道建築士会支部会費の増額(案)  
8) 令和3年からの特別会費の活用方法  
9) 令和3年一般会計事業計画及び予算編成  
10) 令和2年臨時総会の開催  
11) 北海道文化遺産活用活性化実行委員会新規加入構成員NPO法人オホーツク自然文化ネットワークとの協定書の締結(案)  
12) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)

### 本部の主な行事予定（10月）

- 11日(日) 一級・木造建築士設計製図試験  
24日(土) 第2回まちづくり委員会

## 講習会のご案内

### 監理技術者講習

10月22日(木) 旭川市・23日(金) 札幌市

### 既存住宅状況調査技術者講習

【新規】10月8日(木) 札幌市・13日(火) 函館市・旭川市  
11月4日(水) 釧路市  
【更新】10月14日(水) 札幌市

## 編集後記

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか？9月は道内の最高気温が30℃以上の地域が数多くあり夜も寝苦しい日々が続きました。また、依然とコロナウイルスによる道内の陽性感染者数も右肩上がりとなっており、ソーシャルディスタンスは欠かさない状況です。コロナ禍に慣れるような考えは無くし、今一度気を引き締め、感染対策を改めてお願いいたします。10月は気温の変動もありますが健康管理に留意して建築士活動を送ってください。

情報委員会 柏倉 晶憲(土別支部)

## 令和2年度応急危険度判定士認定講習のご案内

### 1 認定講習の方法及び日程等

- (1) 本会ホームページから受講必要書類を入手  
「必要書類」  
・講習(在宅学習)資料・理解度判定テスト
- (2) 講習(在宅学習)資料により在宅講習を実施
- (3) 理解度判定テストを実施し、回答及び認定申請書類等を北海道建築士会へ送付

### 2 受付期間

令和2年9月14日～令和3年2月26日  
詳細は、ホームページをご覧ください。

## (公社)日本建築士会連合会 各委員会委員名簿(特別委員会)

委員会名	支部名	委員氏名
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会	委員	札幌 高野 壽世
災害対策特別委員会	委員	札幌 牛田 健一

## CPD認定プログラム(9月認定)

### ◆令和2年度応急危険度判定士認定講習(在宅講習)

〈単位数〉1単位

### ◆do BIM season1(オンラインセミナー)

〈開催日〉10月22日(木) 18:00～ 他 計3回

〈単位数〉1単位

〈上記講習等問合せ先〉

(一社)北海道建築士 TEL 011-251-6076

### ◆2020年度北海道ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座

〈日程及び会場〉10月10日(土) 13:00～17:00

北海道開拓の村(札幌市)他 計9回

〈単位数〉4単位 他

〈問合せ先〉

北海道文化遺産活用活性化実行委員会

## CPD 自習型認定研修の設問

P2-3 まずは平面図だけBIM

北海道建築士 No.278

2020/10/1 単位:1

設問 建築BIM推進会議の部会に実在しないものはどれか

- a. BIMモデルの形状と属性情報の標準化検討部会
- b. BIMを活用したデジタルコンストラクション検討部会
- c. BIMによる積算の標準化検討部会

※不正解の場合は、単位に登録できない場合があります。



情報委員会委員長/斎藤 勝哉  
副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁  
委員/柏倉 晶憲・村山 賢司  
片岡 哲二・境谷 香奈

## 北海道建築士 No.278号

印刷 令和2年9月/発行 令和2年10月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
大五ビル  
電話 (011) 251-6076番  
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎  
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
電話 (011) 811-7151番